

平成29年度 第5回高士区地域協議会

次 第

日時：平成29年8月30日（水）午後6時30分～

会場：高士地区公民館 2階 中会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

地域活動支援事業

（1）課題等の洗い出しについて

自主的審議

（2）テーマの設定について

4 その他

5 閉 会

地域活動支援事業 課題の洗い出しについて

前回の地域協議会では、フリートーク形式で地域活動支援事業の課題の洗い出しを協議していただきました。

フリートークの中で出た意見及び審査・採択の際に出た意見について、下記のとおりまとめました。

来年度の地域活動支援事業を見据え、具体的な改善案等を協議してください。

1. キャンドルイベントについて

課題	・「雪まつり実行委員会」が存続していくためのあり方を協議会で協議した方がよい。
対応策	➤ ➤ ➤

2. 新規事業について

課題	・提案事業の変動がなく、新しい提案が出てこない。 ・毎年度大きい金額を申請する団体があるため、新規事業が入り込めない。
対応策	➤ ➤ ➤

3. 減額採択の方法について

課題	・順位に基づかない減額が行われているケースがある。 ・ある程度、基準となる減額方法を協議する必要がある。
対応策	➤ ➤ ➤

4. 学校備品の考え方

課題	・本来、学校備品は市で整備する必要があり、地域活動支援事業で整備するのは、適切ではない。
対応策	➤ ➤ ➤

高士区地域協議会 自主的審議に係る『テーマ設定』について

1. これまでの自主的審議

高士区地域協議会では、これまで下記のテーマについて、検討してきました。

また、前期の委員は「**②持続可能なコミュニティのあり方**」をテーマとし、協議を進めてきました。

については、今後の高士区地域協議会としての方針を決めるべく、自主的審議のテーマを検討してください。

2. 検討のポイントについて

- ・高士区の実情にふさわしい内容か
- ・具体的な手法が見えてくるか。
- ・それぞれの検討事項で課題となるものはなにか。
- ・取組の採算性はどうか。
- ・取組の実施主体として相応しい団体や人物は考えられるか。

■高士区地域協議会で検討してきたテーマ

高士区地域協議会委員が考える今後検討していきたい事項	これまでの取組・意見等（概要）
<p>①農業を始めとする高士区の産業活性化策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高士区の特産品を掘り起し、磨き上げて地域産業の活性化と外貨獲得につなげたい。 ➢ 高士区産のブドウの付加価値を高める方策を検討したい。 ➢ 地元産の大豆の加工工場を誘致できないか研究したい。 ➢ 清里・三和区を含めた新しい観光ルートを提案し、地域の製品の魅力を発信したい。 ➢ 農業後継者を育成するための方策を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高士区の農産品を掘り起こすのは難しい。 ○ 高士区の特産品として挙げられるもの →山ブドウ、いちじく、野いちご（ポイセンベリー）、ブルーベリー マスカットベリーなど ※どれも栽培が難しく、商品として売り出すことは難しい。 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検討の結果、成果を上げることは難しいと判断した。
<p>②持続可能なコミュニティのあり方を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 若い世代との価値観の融合策（意見交換の場を設ける等）を検討したい。 ➢ 新しい住民参加のあり方やコミュニティの枠組みを検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代との意見交換の場「高士区未来づくり懇談会」を開催した。 →懇談会に参加した有志により、「雪まつり実行委員会」が立ち上がった。
<p>③転入者を増やし人口減少スピードを緩める方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 遊休地を住宅用地として提供するための方策を検討したい。 ➢ 空き家への入居を促進する方策を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未検討
<p>④地域内外の住民との交流を拡大するための方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国道 405 号線に道の駅を開設できないか研究したい。 ➢ 北方城跡の活用策を検討したい。 ➢ 若者が中心となった地区全体の新しいイベントを開催できないか検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代を中心とした「雪まつり実行委員会」が平成 27、28 年度に「高士ルミネ」を開催した。
<p>⑤運転ができなくても安心して生活していくための方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日常の買い物の利便性を維持するための方策を検討したい。 ➢ 通院等の移動手段を確保するための方策を検討したい。 ➢ 特別養護老人ホームを区内に整備できないか研究したい。 ➢ 高齢者のための居住施設が整備できないか研究したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未検討